

四島のかけ橋

第54号
平成26年1月1日
(水曜日)

発行所
北方領土返還要求運動
神奈川県会議
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-1111 内線3618
発行人 綾井 祐一

第二十九回県民大会を開催

会場は横浜情報文化センター

平成二十五年十一月二十一日(木)、横浜市中区の「横浜情報文化センター」情文ホールにおいて、第二十九回北方領土返還要求運動神奈川県大会を開催しました。

会員をはじめ百六十五名が参加した今大会では、主催者の古沢会長の挨拶の後、来賓の吉川神奈川県副

理事長から、当県民会議の活動への敬意と今後の運動への激励の言葉を頂きました。

続いて、大谷英弘氏(神奈川県北方領土問題教育者会議)が、昨年八月二日から五日に行われた、北方四島交流訪問事業の参加報告を行いました。色丹島を訪問した際の、日本人墓地への墓参りや開発が進む島の

様子、在住しているロシア人との交流で感じたことなどについて、写真を交えて報告していただきました。(講演要旨 別掲)

最後に、神奈川県民の総意を結集し粘り強く運動を推進するという大会宣言が白石副会長から提案され、満場一致で採択されました。

2月7日(金)は

「北方領土の日」

一八五五年の二月七日(旧暦では安政元年十二月二十一日)、伊豆の下田において日露通好条約が調印されました。この条約で日露両国の国境が平和裏に定められ、北方四島が日本の領土として初めて国際的に明確にされたのです。そうした経緯を踏まえて、北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、全国的な北方領土返還運動の一層

の推進を図るため、昭和五十六年一月六日の閣議了解で二月七日が「北方領土の日」として定められました。県民会議では、相模鉄道及び神奈中バスでの「車内映像広告」、電光ビジョン、新聞、懸垂幕などによる広報を予定しています。

また、本年も二月七日(金)に、東京都の日比谷公会堂で、「北方領土返還要求全日大会」が開催されます。

八月の日露次官級協議に繋げて、返還交渉が前進している」という内容でした。

また、内閣府の挨拶の中に、映画『ジョン・ボンの島』の紹介がありました。

迎春



北方館から納沙布岬を望む

「北方領土問題 法と正義による解決を」

(講演要旨)

立命館アジア太平洋大学客員教授 津守 滋 氏

北方領土の現状は、ロシアが不法占拠しているという事です。

戦後もうすぐ七十年になりますが、日本が正常な外交関係を持っていないのは、ロシアと北朝鮮だけです。ロシアについては、先方ではできるだけ早く平和条約を締結したいと折に触れて言ってきたわけですが、その前提条件は言うまでもなく、領土問題の解決です。

北方領土の現状は、ロシアが不法占拠しているという事です。解決しないかもしれません。領土問題は、国の主権の最も重要な部分を構成する要素であり、国家の基本にかかわる問題です。この問題については、外交の原則は曲げてはいけません。原則を曲げると、その分いわずに主権を放棄した、極端に言えばそういふことにもなりかねないと思えます。つまり、日本国の外交姿勢が問われる話です。さらに、日本とロシアの国境、択捉島とウルフ島との間にあり、国際法の始まりであり、国際的ルールに従って、日本とロシアの関係を規定したわけです。そこに何と書いてあるか。「今より後、日本とロシア国との境、択捉島とウルフ島との間にあり、正式の外交交渉によって等価交換をしたわけです。」

次は一八七五年の日露通好条約で、日本とロシアが初めて外交関係を持ちました。日本とロシアにかかわる国際法の始まりであり、国際的ルールに従って、日本とロシアの関係を規定したわけです。そこに何と書いてあるか。「今より後、日本とロシア国との境、択捉島とウルフ島との間にあり、正式の外交交渉によって等価交換をしたわけです。」

戦後もうすぐ七十年になりますが、日本が正常な外交関係を持っていないのは、ロシアと北朝鮮だけです。ロシアについては、先方ではできるだけ早く平和条約を締結したいと折に触れて言ってきたわけですが、その前提条件は言うまでもなく、領土問題の解決です。

灯台

推進委員報告(その七) 毎年十一月に都道府県代表者全国会議が開催されます。今回の会議では、NHK解説委員の石川一洋氏の解説がありました。安倍総理は、第二次森内閣と第一次小泉内閣時に官房副長官として返還交渉の構想を練り、現在、自分の手でこの問題を解決する強い決意を持っている。その結果、昨年四月、ロシアを訪問しプーチン大統領と北方領土について語り、六月にG8で首脳会談を行い、八月の日露次官級協議に繋げて、返還交渉が前進している」という内容でした。

また、内閣府の挨拶の中に、映画『ジョン・ボンの島』の紹介がありました。この映画は日本音楽事業者協会により立案された企画で、第二次世界大戦直後に北方四島で起きたソ連軍進駐を題材にした実話が基となるアニメーション長編映画です。幼い主人公・純平(十歳)と寛太(七歳)が暮らす色丹島を舞台に、過酷な運命に翻弄される島民たちと、家族の愛、少年少女たちの淡い恋を描きます。純平・寛太の父親、辰夫役に市村正親、辰夫の幼なじみの佐和子を仲間由紀恵が演じるほか、ユースケ・サンタマリア、北島三郎、柳原可奈子、犬塚弘、仲代達矢、八千草薫が声優を務めます。二〇一四年二月二十二日(土)公開予定です。ユーチューブでも予告編がアップされているので是非ご覧ください。

島も含めて全部日本のもの
です。理屈としては全島返
還が、法と正義にかなうこ
とであります。

正義に関して一言言え
ば、四島はソ連が戦争中に
取ったわけではありませ
ん。八月九日、ソ連は日ソ
中立条約を破って日本に参
戦しました。北方四島につ
いては八月十五日に日本が
降伏した後、八月十八日か
ら占領を始めたのです。だ
から、「戦争の結果として、

された。これは明らかな侵
略です。

三・五島返還論、三島返
還論などがありますが、四
島が出発点ではないので
す。四島は千島十八の
全ての島が問題の出発点な
のです。

二〇一二年三月に、プー
チンが言った「引き分け」
の意図ははっきりしていま
す。二島返還です。要する
に、それで手を打とうとし
ているのだらうと私は思う
のです。

県民大会の様子



四島を出発点にすれば、
仮に引き分け論に乗った場
合には、三島あるいは三・
五島などの議論になりま
す。しかし、問題の出発点
は四島は十八島なのです。
仮にプーチンの引き分け
論に乗るのであれば、四プ
ラス十八の二十二島のう
ち、上の十八の島はロシア
領とし、下の四島は日本領
とする。だから、四島返還
は最低限の要求なのです。

プーチンの心の底は二島
返還でしょうが、二〇一二
年三月の記者会見では「歯
舞・色丹についても主権が
どこかは決まっていな
い」と、とんでもないことを
言っています。プーチンの
見かけはやわらかくなった
みたいですが、決して
やわらかくなっていない

のです。

しかし、そういうロシア
の第一人者との問題でつ
き合っていないかざるを得ませ
ん。プーチンがオーケーを
言わない限り問題は解決し
ないのです。しかも彼は七
十何歳になるまで多分大統
領を続けるわけです。その
間、彼を翻意させるのは非
常に難しい話です。

根室には、現実に二島返
還しようがないという方
がおられるのは知っていま
す。実は私の母は根室出身
で、個人的にも小学校時代
から、水晶島や貝殻島、国
後島の話や、母親からよく
聞いていました。当時国後
島は、冬は氷結してしまし
た。そうなるに住民は壊血
病になるのが一番怖い。壊
血病を防ぐためには、ビタ
ミンDをとらなければいけ
ない。特にミカンとかです
ね。国後島で冬の途中でミ
カンがなくなると、氷の上
を歩いて根室へ渡ってくる
という話を聞いていました
から、あの辺のことは子ど
ものころから非常になじみ
があります。

ロシアの直接の利益は石
油、天然ガスです。今まで
ヨーロッパの国が言い値で
買ってくれましたが、今そ
うじゃありません。なぜか
という、シェールガス革
命で大きな変化が起きてい

づく保証はありません。「せ
めて二島だけでも」という
気持ちはもちろんわからな
いではないですが、それは
やはり正しくないとい私は思
います。

返還に向けて、一体どう
いうチャンスがあるのか。
今、外務省の中でもいろいろ
検討しています。また、
二プラス二、防衛大臣と外
務大臣の会合がロシアとの
間で始まりました。安倍訪
露の一つの成果だったと思
うのですが、ああいう形で
だんだんとロシアとの関係
を幅広くやっていくし
ようがないのでしょうか。

ロシアとして、やはり怖
いのは中国です。中露国境
の中国側には中国人が1億
人います。それに対してロ
シア側には六百万人しかい
ない。この圧力は大変なも
のです。しかも、ロシアは
アジア極東に活路を見出そ
うとしています。そのとき
に、安全保障上、中国が脅
威になりつつあります。

考えよう みんなで解決 北方領土

平成二十五年度 北方領土に関する標語 〈最優秀賞〉

和歌山県有田市 上田 早紀 さん

相鉄線と神奈中バスで

北方領土に関する県民会議のCMが流れます!!

二月の「北方領土返還運動全国強調月間」の期間、相鉄線と神奈中バスの一部の車両で、北方領土に関する啓発映像を放映します。
一回三十秒のCMが、相鉄線は全線で五十両の車両、神奈中バスは横浜地区と相模原地区の百五十台の車両で流れる予定です。
ご乗車の際には、車内映像広告にご注目ください。

また、ロシアは日本の技
術が欲しいのです。エネル
ギーの市場としてのみなら
ず、日本はその面でも大変
か、という希望的観測も交
えて考えている人も出てき
ています。非常に小さいけ
れども、そういう可能性を
視野に入れて、トータルで
ロシアの極東戦略というも
のを見据えながら、北方領
土問題を考えていくという
ことが大切だと思います。



神奈中バス「かなチャンネル」

津守 滋 氏

プロフィール

立命館アジア太平洋
大学客員教授
「バルカンをゆくー民
族問題を考える」(サイマ
ル出版)

「後藤田正晴の遺訓ー
国と国民を思い続けた
官房長官」(ランダムハウ
ス・講談社)など 著書
多数
京都大学法学部卒



編集後記

◇昨年十一月、中高生を
引率して羅臼町、根室市
へ北方領土の視察に行き
ました。参加者は、神奈
川県北方領土問題教育者
会議で募集した、作文コ
ンクール優秀作品の生
徒達一〇名です。
羅臼町では、元島民の
方から、子供の頃に住ん
でいた歯舞群島多楽島か
ら命がけて根室まで脱出
した話を聞きました。翌
日は船で国後島まで八
Kmの中間点まで行き、
島が目の前に見えること
に驚きました。更に根室
市から歯舞群島を肉眼で
見て、全員が島は日本の
領土だと認識しました。
今回の視察を通して、
今後若い人達が引き続き
領土問題に関心を持って
くれることを願ってやみ
ません。
(綾井)